

今を輝く 高校生の声

本校合唱部は学校創立とともに創部され、今年で百十八年目を迎える伝統のある部活動です。女声合唱ならではの色彩豊かな音楽を目指して活動し、無伴奏の曲を中心に日本の作品ほか、外国作品を数多く演奏しています。主な活動は、定期演奏会、コンクール、音楽会や地域の行事、アンサンブルコンテストなどです。そして様々な演奏の機会が私たちの成長に繋がっていると感じています。

毎年五月に定期演奏会があり、そこではほとんどの三年生が引退となるため、ほぼ一・二年生で活動していくこととなります。主体となるのは二年生。「その年の力は二年生の力」といえます。他校は三年生が主力、私たち二



全国大会をはじめ貴重な経験が得られ、今年で百十八年目を迎える伝統のある部活動です。女声合唱ならではの色彩豊かな音楽を目指して活動し、無伴奏の曲を中心に日本の作品ほか、外国作品を数多く演奏しています。主な活動は、定期演奏会、コンクール、音楽会や地域の行事、アンサンブルコンテストなどです。そして様々な演奏の機会が私たちの成長に繋がっていると感じています。

昨年、二年ぶりの三回目となる全日本合唱コンクール全国大会出場を果たし、金賞を受賞しました。全国大会出場を目指して残ってくれた、十名の先輩方。先輩方は前回の全国大会の経験を活かし、たくさんの方を教えることができました。三年生の先輩の存在は、とても大きく心強かったです。一・二年生も引退を遅らせた三年生と全国大会に行くために一生懸命頑張りました。全学年が一丸となって目指したことによって、全国大会への切符をつかめたのだと思います。コンクールは十三名以上の大編成グループに出場し、百名以上いる学校もある中、私たち三十六名は練習の成果を思う存分出し切り、金賞をいただくことができました。この結果は百十八年の合唱部を築いてきてくださった先輩方あってのことだと強く思いました。

また、私たちは登山競技にも力を入れています。登山競技では、安全登山に必要な技術、体力、知識を競います。その集大成として今夏、中国インターハイに出場し、優勝することができました。競技内容としてはテントの設営審査、気象や植生などの知識審査、実際に山を登る行動審査や読図審査な

私たちが山岳部は三十五名の部員で活動しています。千葉東高校山岳部は六十四年の歴史を持つ伝統のある部活動です。部員は皆、自主性に富み、活動は部員自ら予定を立てて行います。主な活動は、平日は登山に必要な体力、技術を養い、山には長期休業や休日を利用して登りに行きます。登りに行く山は部員でいくつかのグループを作り、行きたい山をプレゼンテーションによって決めます。昨年は夏季休業を利用して北アルプスの槍ヶ岳へ行きました。山の楽しみは頂上からの景色や満天の星空などで、人によって様々な楽しみ方があり飽きることがありません。山には都市など人工の世界では感じることのできない自然の魅力があります。



これまで優勝をめざして頑張ってきましたが、本日に優勝校として発表された時には嬉しくて号泣してしまいました。ここには書ききれないほどの思い出は私にとって一生の宝物です。今後は二連覇を目指しつつ、まずは確実に県総体を突破できるように部員全員で頑張っていきたいです。

ちば高P連だより

第76号

千葉県高等学校
PTA連合会事務局
☎043(255)0687

伝統ある千葉女子高校合唱部

全国大会を目指して

千葉県立千葉女子高等学校合唱部 古川 加奈子

高文連紹介

優勝は日頃の活動の集大成

千葉県立千葉東高等学校山岳部 西 遥希

き、このように部活動が続けられるのも顧問の先生方や、支えてくれる家族や友達、応援してください。感謝の気持ち忘れずこれからも日々努力していきたいと思っています。



県高P研究集会報告

県高P連副会長 高 楯 誠 止
(千葉県立佐倉高等学校PTA会長)

平成二十八年十一月十四日、千葉県総合教育センター大ホールにて開催された第五十二回千葉県高等学校PTA研究集会は、著名な来賓各位ご臨席のもと総勢三百人の関係者が集結し大盛況のうちに閉幕しました。

開会式冒頭の主催者挨拶は県P会長職三年目を迎えた大木幸夫氏、全国高等学校PTA連合会大会千葉大会の報告と関係者への御礼の言葉から始まり、本研究集会が活発且つ有意義なものになることへの期待を表明されました。

開会式に続く講演会は、キャリアアコンサルタント・キャリアアコディネーターとしてご活躍の池田千恵美先生を講師としてお迎えし、「新しいキャリア教育とは」の

演題で講演いただきました。

キャリア教育って何？から始まり、この時代に求められるキャリア教育の在り方、保護者の立ち位置とあるべき姿などについて、分かり易く噛み砕いてお話いただき、会場全体が真剣に聞き入っていました。時代の変化に伴う職業選択と企業ニーズの多様化に適応する教育、職業選択におけるミスマッチと離職率問題への対策などについてアドバイスいただきましたが、私たち保護者にとって最も重要なことは、先生が特に強調されていた「親だからできること」です。最も身近な人生の先輩だからこそ子供にとって最良のアドバイザーでありたいという欲求を促すものでした。親が育った時代とは大きく異なる環境下で子どもに寄り添い適切なアドバイスを送るためには私たち親の学びがいかに

重要であるかです。子供たちも学びのない親にアドバイスを求めたいとは思えないでしょうから。キャリア教育＝生きる力を養うための最も重要な教育、このことを強く再認識するものでした。後半は分科会、第一、県立安房拓心高校、県立船橋啓明高校、第二、県立松戸国際高校、県立多古



※ 第一分科会 ※

高校教育の理解を深めるためのPTA活動について

千葉県立安房拓心高等学校PTA会長 安西 重治

本校は、大正十一年に開校した長い歴史と伝統のある学校です。これまでに、多くの優秀な人材を輩出し、卒業生は、社会や産業の担い手として、様々な分野で大いに活躍しています。平成十六年四月には、五十六年間続いた安房農業高等学校から校名を安房拓心高等学校に改名し、翌平成十七年には、時代の要請等に応え、園芸・土木・畜産・調理・文理の五系列を有する総合学科の高校としてスタートしました。

高校教育の理解を深めるためには、役員中心のPTA活動から、保護者全員のPTA活動となるよう、活動内容、活動時間等を検討し、多くの保護者がPTA活動に参加してもらえよう、創意工夫をしていく必要があると考えます。そこで、保護者へのPTA活動に関するアンケート調査を行い、それを元に検討を進めていきたいと思っています。今後、さらなる学校教育の理解を深める努力を行っていくつもりです。

進路指導の援助を推進するためのPTA活動について

千葉県立船橋啓明高等学校PTA会長 吉川 良一

本校は千葉県立船橋旭高等学校と千葉県立船橋西高等学校が統合してできた新しい学校です。西高校の校舎を使用し、進学重視型単位制高校というコンセプトのもと、「啓明セミナー」という補習・補講を行っています。

今後、学校側と連携し、進路実

学校生活を支える為、今年度は環境整備として、特別教室の冷房設置を行います。

＊第二分科会＊

高校生の健全育成を進めるための 地域活動について

千葉県立松戸国際高等学校PTA会長 平野真樹

本校は、国際化に対応できる人材を育成すべく、普通科の他に国際教養科を設置、二期制・単位制を導入、多様に教科選択できるカリキュラム編成で学業に励んでおり、国際理解教育、英語教育にも力を入れている学校です。

生徒たちは行事やイベントは自分たちの手で作り、盛り上げていくという気持ちに溢れており、とても行動力が高く、それは校内にとどまらず、地元の祭で老舗和菓子店とコラボしたとら焼きを販

そのような姿を通して、本校を見守って下さる地域の応援団が年々増えてきています。その陰には校長をはじめとする先生方のサポートがあり、私たちもその協力をし、地域の応援団を増やしていきたいと思っています。

家庭教育の充実を図るための PTA活動について

千葉県立多古高等学校PTA会長 木志根茂行

本校は明治四十年創立の百十年の歴史をもち、生産流通科各学年クラス、普通科一・二学年二クラス、三学年三クラス、全校で十クラス三百六十三人の生徒が学び、広大な敷地には農場や実習場が広がり、豊かな自然に恵まれています。平成二十四年度より県内初のコミュニティースクールに指定され、現在二期目の指定を受け、平成二十七年度には千葉県教育功労賞(団体)を授賞するなど、地域とともに歩む学校として実績を上げており、地域に愛され育てられる多古高校生となっています。

十一月二十五日(金)、流山市にある江戸川大学において、本年度の地区研究集会が開催されました。地区十八校から二百六名の参加者を得、ご来賓として高等学校PTA連合会事務局の林修一先生にご臨席いただいて大変盛会でした。

当地区の研究集会は、毎年三校が発表校となり、各会の活動報告と独自の取り組みの成果や課題を発表することによって、PTA・保護者会の在り方や活動の方向を研究する集会となっています。

今年の発表校は、市立柏高校、

県立沼南高校、流山おおたかの森高校の三校でした。各校とも、ユニフォームをそろえ、多量のスライドや映像を用いた熱のこもった発表で、役員のみならず、皆さんの活発な活動ぶりとその活動を楽しんでいる様子がよく分かる発表となりました。

市立柏高校は「保護者と地域との関わり」より愛されるイチカシを目指して

「保護者と地域との関わり」より愛されるイチカシを目指して

「保護者と地域との関わり」より愛されるイチカシを目指して



「」の題で、地域に密着し、地域に愛され、地域に貢献するイチカシの姿の報告でした。

沼南高校は「起こせ!沼南乃風!!」の題で、恵まれた自然環境や施設の中で、独特な学系列に分かれて学ぶ子ども達と仲良く活動する保護者の姿の報告でした。

流山おおたかの森高校は「十八歳選挙権がやってきた!」の題で、マスコミでも取り上げられた主権者教育の様子や筆頭理事校としての活躍ぶりの報告でした。

各発表に質問が出てさらに理解が深まり、「来年はうちでも……」という声も聞かれた研究発表で、県立柏の葉高校の渡部徹校長先生にもお褒めいただきました。

研究集会後には江戸川大学の学生食堂をお借りして懇親会を持つこともできました。こちらでは学校を超えた交流も見られ、和やかな雰囲気の中で今年度の研究集会を終えることができました。

第20回平成二十八年度
英語・日本語弁論大会
各部門入賞者

第一部門 英語による弁論

二位 野澤 愛莉(白井高校)

[Remember Pearl Harbor,

Remember Okinawa]

二位 ライサアインマン(敬愛園高校)

[Feeling Blessed with

What We Have]

第二部門 留学生による弁論

一位 ミラド ラジャイ(市立柏高校)

二位 陸ヒヨウコウ(翔凛高校)

[「壁でなく、橋を」

「アニメで学ぶこと」]

第三部門 日本語による弁論

一位 椎名 真規(松尾高校)

「私の夢」スウェーデン

から学んだこと」]

二位 原尻 理沙(柏高校)

「日本における国際理解」]

平成二十九年年度

主な行事予定

・県高P連総会 六月七日(水)

・千葉県教育会館大ホール

・第六十三回関東地区高P連大会

神奈川大会

七月七日(金)～八日(土)

横浜市パシフィコ横浜 他

・第六十七回全国高P連大会

静岡大会

八月二十四日(木)～二十五日(金)

静岡県小笠山総合運動公園他

・県高等学校PTA研究集会

十一月十五日(水)

・千葉県教育会館大ホール

・県高P連研修会

平成三十年一月十七日(水)

千葉県教育会館大ホール

「食事で決まる心とからだ」

県高 P 連副会長 宮原 政 志
(千葉県立東金高等学校 P T A 会長)



本年度の研修会は、一月十一日(水)、千葉県教育会館にて「食事で決まる心とからだ」～高校生にこそ知って欲しい食生活の大切さ!～というテーマで実施されました。

まず、前半に「若年者の就労支援」について、「大学生生活協同組合の支援」について、それぞれ説明があり、休憩を挟んで本題の講演に入りました。

一般に「食育」というと小中学生やその保護者を対象に話されることが多い中で、講師の遠藤明男先生(千葉

市教育委員会事務局教育総務課管理主事)は、教職にいる傍らで高校生の食生活と健康について研究を重ねてこられました。

講演では、反応性低血糖症について触れ、最近の不登校や情緒不安定な学生が、甘い物の摂りすぎとの相関関係があると指摘。菓子や清涼飲料水などからひっきりなしに砂糖を摂り込んでいる状態からインスリンが過剰分泌され、自律神経のバランスが戻らなくなっていることがある。人間の感情をコントロールするセロトニンというホルモンが脳で作られるスピードが鈍ると集中力を失い鬱の原因

にもなる。セロトニンを安定して作らせるにはタンパク質やビタミン B6、ビタミン C を摂る必要があると説明いただきました。

また、食品添加物やハウスダストの恐ろしさをお話いただきながら、体の抵抗力を上げるメカニズムなどを解説いただき、これらも全て私たちの日頃の食生活が大きく影響しているということを知りました。

講演後の質疑応答では熱心な質問が飛び交いました。さらに研修会の終わりに大木会長から話があり、自身の家族の体験から食事の大切さを痛感していることなどを話され、なかなか親の言うことに耳を傾けない年頃だからこそ注意を向けなければならないと会場に訴えかけました。

閉会後のホールのロビーでは、会長と遠藤先生の周りに熱心な参加者の方々の人だかりがいつまでもあったのが印象的でした。



本校の理数教育の成果

千葉市立千葉高等学校 S S 日推進部長

太田 和 広

本校は千葉市立の最初の高等学校として、昭和三十四年四月に開校して本年度五十八年目を迎えています。「強く、明るく、より高く」という校訓を掲げ、常に高みに向かって努力を怠らない人物の育成を目指しています。このような本校はこれまで数多くの輝かしい成果を上げてきました。その中で今回は特に理数教育についてご紹介いたします。本校は平成十四年度から文部科学省よりスーパーサイエンスハイスクールの研究指定を受け、先進的な理数教育に関する研究開発を行ってきました。本校はこのスーパーサイエンスハイスクールの指定校では大学や研究機関と連携したカリキュラム開発、地域一体となった科学技術振興、多彩な学校設定科目など学習指導要領の枠を超えた科学技術・理科・数学教育に関する研究開発に取り組んでいます。本校は創造的な教育環境の構築を目指して「大学、各研究機関及び科学館等と相互に連携を図りつつ、ワークショップ体験やフィールドワーク等、生徒の実体験活動に主眼をおいたカスタム・メイドな国際科学教育実践の研究

開発」をテーマにして研究開発に取り組みました。この平成十四年度のスーパーサイエンスハイスクールの指定から途中五年間のブランクを経て、平成二十四年度から二十八年度までの二回目の指定を受け研究開発に取り組んで来ました。この十五年の間に、生徒達の課題研究において、平成十六年にはスーパーサイエンスハイスクール全国生徒発表会では科学技術振興機構構理事長賞を受賞、J S E C (ジャパンサイエンスエンジン) アーシングチャレンジ」という国内最大の発表会では二〇〇六年には横川電気スポンサーコンプリメンタリー賞を受賞、二〇〇九年には審査員奨励賞を、二〇一〇年には J F E スチール賞をいただき、受賞した生徒達はアメリカへ派遣されるようになりました。そ



事務局より

第66回 全国高等学校 P T A
連合会大会千葉大会
会報発行に向けて

全国千葉大会担当事務局長

佐々木 純

穏やかに新年をお迎えのことと思います。昨年の全国千葉大会が遠い過去のような気がいたしますが、皆様には大変ご協力いただきました。誠にありがとうございます。現在、資料広報の皆さんには大会会報作成の作業をしていただいております。もうすぐ発刊の運びになります。今後とも千葉県高等学校 P T A 連合会よりよろしくお願いいたします。

して、今年度 I S E F 二〇一六 インテルサイエンスエンジンアリン(グフエア)という世界最大の研究発表会がアメリカ合衆国のアリゾナで開かれ、ついに機械工学部門で最優秀賞を受賞するという快挙を成し遂げ、さらに日本人で初めてインテル文化財団中国訪問賞で受賞しました。このように本校の理数教育の質の高さは全国でも屈指の高いレベルにあると言えます。これからはこの栄光を汚さないよう生徒職員一丸となって取り組んで行きたいと思っています。



本校の交通安全指導について

千葉県立京葉高等学校生徒指導主事

高橋 一成

本校は、今年で創立六十一年目を迎えた地元市原の伝統校で、学校は梨畑等の田園地帯や養老川が流れる緑豊かで落ち着いた環境の中に位置しています。

本校は創立当初より市原市内から通学する生徒が多く、現在も全校生徒の約八割が市内から通学し、小湊鉄道やJR内房線五井駅を利用する生徒も自転車通学をしているため、本校の自転車通学率は、例年九十八%前後に達します。

学校周辺は自然豊かではあるものの、道路事情は館山自動車道の市原インターチェンジが近くにあり、五井駅や工業地帯に向かう車の交通量が多く、学校周辺は幹線道路へ

向かう車の抜け道となっているので、特に朝の登校時には、信号の無い交差点・田園地帯や川沿いを通る狭い道路等を車や自転車が行き交います。このような状況の中、本校の交通安全指導は、自転車乗車に関する取り組みを中心に行われています。内容は年四回実施されるPTA・地域・警察合同登校指導として、一・二学期の定期考査後に保護者・地域(町内会役員)・交通安全協会・市原警察署の方々と一緒にJR五井駅から学校に向かう通学路の中で危険な箇所を立ちながら自転車安全運転の指導にあたっています。また学校職員による同様の登下校指導が年四回、学期始めにも駐輪指導を含めた登下校指導と自転車整備点検、年五回の挨拶身だしなみ週間と日々の昇降口での登校指導の際にも「なが



ら運転」撲滅に向けた取り組みをしています。そして警察署員や生徒指導部による交通安全講話を定期的に実施しながら、本校を取り巻く交通安全の課題に向けて取り組んでいます。

今後も生徒が交通事故の被害者・加害者とならないように指導を続けていきたいと思います。



東金高校のPTA活動について

千葉県立東金高等学校PTA会長

宮原 政志

今年度は本校が山武地区の幹事校であり、県PTA副会長を輩出する年であるために、単Pの活動は良い緊張感の中で役員の連携がとれて活発に行われています。

六月の総会時には、学校周辺にある土蔵や町屋などの伝統的建造物群を見学するまち歩きを企画し、大勢の保護者の方々に参加いただきました。七月には広報委員会が会報「池の端」臨時号を発行、例年より早く新役員紹介や総会報告をすることができました。八月は全国大会に大挙してスタッフ参加し、九月には文化祭バザーで本校オリジナルタオルを製作販売し完売御礼としました。十月は大学見

学バスツアー、そして十一月の地区研究集会では幹事校として「地域と繋がる高校生」というテーマで手作りの勉強会を主催しました。忙しい年ではありましたが、それだけに多くの学習機会に恵まれ、役員同士で親睦を深めながら有意義に活動ができています。



本校PTA会報「池の端」は、昨年度は関東大会に、そして今年度は全国大会に、千葉県を代表する広報紙として展示されました。これもまた、関係者の活動に対するモチベーションを高める要因となっています。

地域の少子高齢化が進んでいく中で十八歳選挙権に象徴されるように高校生に対する社会の期待も増えているように実感します。そんな時代において、生徒たちの最も身近なお手本であり助言者であるオトナが学校の先生であり、私たち保護者であるという自覚のもとに、普段から生徒たちにどんな助言をし、お手本を示してあげられるか、一緒に智慧を出し合っていきたいですね、という良い雰囲気作りが構築されているのだと思います。

2020年、
さすがJAPAN!
って言われたいよね。

私たちはすべての挑戦を応援します。

To Be a Good Company

東京海上日動

SOMPOホールディングス | 保険の先へ、進む。
損保ジャパン日本興亜

保険の
先へ、挑む。

損保ジャパン日本興亜は
SOMPOホールディングスの一員です。

損害保険ジャパン日本興亜株式会社
千葉支店 千葉中央支社
〒260-0026
千葉県千葉市中央区千葉港 8-4
Tel:043-243-3098
http://www.sjnk.co.jp/

日米の青少年育成に
対する留学奨学金ブ
ラムとして「AIU高
生国際交流プログラム
を支援しています。

AIU保険
Member of AIG

AIU損害保険株式会社
〒130-8560
東京都墨田区錦糸 1-2-4
<http://www.aiu.co.jp/>

立ちどまらない保険。
MS&AD 三井住友海上

三井住友海上の
安心

GK

クルマの保険
住まいの保険
ケガの保険

www.ms-ins.com

特色ある生徒の活動

「私たちの多古米、空を飛ぶ」

千葉県立多古高等学校生産流通科 教諭 萩原義文

昨年六月にクアラルンプールにある国立の中高一貫校セリ・ハタマス校の生徒が修学旅行で多古町にホームステイしました。その際、本校を訪れ、生産流通科の三年生が中心になって、交流会を実施しました。内容は、剣玉・折紙・葉を各グループに分かれて作り、その後、剣道の演舞や実際に竹刀を取って一緒に練習をしました。最後にセリ・ハタマス校からお礼に民族舞踊を披露してくれました。

折角できた繋がりをこれで終わりにするのは、残念なことです。そこで、本校も来年創立百十年の節目を迎えることもあり、生産流通科の生徒の生産物をセリハタマス高校に送ることにしました。このことは、海外に輸送する体験を通して、青果物の流通の現状を理解させるとともに、グローバルな視点で農業を考える機会となり、将来の輸出農家育成教育の一助となると考えます。

送る生産物は、「おかずのいらないお米」と評されているブランド米の



多古高産のコシヒカリ六〇キロと薩摩芋(紅東)三〇キロ送ることにしました。ミネラル分の多い粘土質の土壌を生かして生徒たちが丹精込めて育てた生産物です。さらに、家政部の協力で薩摩芋ご飯やお握り、のり巻きの作り方を映像で説明するDVDも同封しました。十一月一日に成田国際空港株式会社(貨物営業部)及びナカムラエアークスプレス株式会社の協力で空輸していただきました。

お礼の返信メールが届き、「サツマイモはとても甘かったです。良い経験ができました。日本の米は珍しく、また、高価ですが多古高生のおかげで、無料で食べることができる幸せを感じました。」と生徒の感想と一緒に笑顔で調理している写真も添付されていました。

来年一月には、生産流通科の二年生が成田空港で青果物の輸出入の現状を学ぶとともに、流通・検疫などの現場を見学する予定です。

1,000万人のガンバリサポート

スポーツ安全保険®

対象となる事故

団体活動中の事故 / 往復中の事故

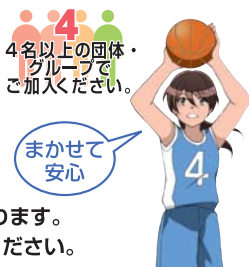
保険期間

平成29年4月1日午前0時から

平成30年3月31日午後12時まで

補償内容

補償内容は、加入区分によって異なります。詳しくは、ホームページなどをご覧ください。



例	死亡保険金：2,000万円 後遺障害保険金：3,000万円(最高額) 入院保険金：4,000円/1日 通院保険金：1,500円/1日(30日限度)
A1、C、A2区分の場合	
※事故の日からその日を含めて180日以内の死亡、後遺障害、入院、手術、通院が対象となります。 ※上記に加え、賠償責任保険、突然死葬祭費用保険も付帯されています。	

加入区分・掛金

加入対象者	補償対象となる団体活動	加入区分	年間掛金 (1人当たり)
子ども (中学生以下) ※特別支援学校高等部の生徒を含む	スポーツ活動 文化活動 ボランティア活動 地域活動	A1	800円
	上記団体活動に加え、個人活動も対象	AW	1,450円
大人 (高校生以上)	スポーツ活動 スポーツ活動の指導・審判 ※右記年齢の判断は、「平成29年4月1日」と「掛金の支払い手続きを行う日」のいずれか遅い日の年齢を基準とします。	C 64歳以下	1,850円
		B 65歳以上	1,200円
	文化活動 ボランティア活動 地域活動 準備・片付け・応援・団体の送迎 ※スポーツ活動を行う場合は対象となりません。	A2	800円
全年齢	危険度の高いスポーツ	D	11,000円

年間掛金には、制度運営費(10円)が含まれます。



公益財団法人 スポーツ安全協会 千葉県支部 <<公財>>千葉県体育協会内

〒263-0011 千葉市稲毛区天台町323 千葉県総合スポーツセンター内

(TEL) 043-254-0075 電話受付時間 午前9時30分～午後5時(土、日、祝日及び年末年始を除く。)



保険の詳しい内容、資料の請求は、ホームページをご覧ください。
※インターネットからも加入受付をおこなっております。

スポーツ安全協会

検索

この広告はスポーツ安全保険(スポーツ安全保険特約に基づく傷害保険(スポーツ安全協会傷害保険特約・スポーツ安全協会傷害保険特約(学校管理下外担保)・突然死葬祭費用担保特約付帯普通傷害保険)、賠償責任保険(スポーツ安全協会賠償責任保険特約等付帯施設賠償責任保険及びスポーツ安全協会傷害保険特約(学校管理下外担保)付帯普通傷害保険賠償責任担保条項)の概要についてご紹介したものです。ご加入の際には、必ず「スポーツ安全保険のあらまし」および「重要事項説明書」をよくお読みください。詳細は保険約款および特約書によりますが、ご不明の点がございましたら(公財)スポーツ安全協会または東京海上日動火災保険(株)までお問い合わせください。

<引受幹事保険会社>

東京海上日動火災保険株式会社
担当課 公務第2部 文教公務室
TEL 03-3515-4346(平日9:00～17:00)

<共同引受保険会社(平成29年4月)>

あいおいニッセイ同和 共栄火災 損保ジャパン日本興亜
大同火災 東京海上日動 日新火災 富士火災 三井住友海上
平成28年12月作成 16-T20747